

週 報

「信じます。

不信仰なわたしを、
お助けください」。

(マルコによる福音書第9章24節)



人と神、人と人をつなぐ難しい働きをしています
日本基督教団 西宮公会教会

〒662-0834

兵庫県西宮市南昭和町 10-22

TEL 0798-67-4691

FAX 0798-63-4044

郵便振替 01170-3-4901

ホームページアドレス

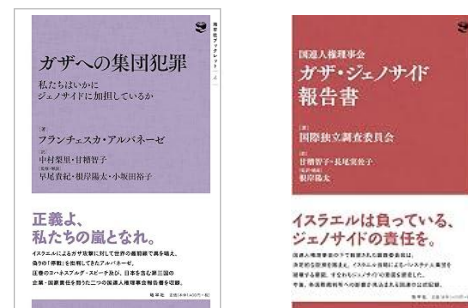
<http://www.koudou.jp/>

電子メールアドレス

koudou@gamma.ocn.ne.jp

小さな手大きな手

パレスチナは、この激動の歴史の1ページを、
自らを征服者と称する者たちの物語の脚注としてで
はなく、
何世紀にもわたる物語の新たな一節として綴ること
になるでしょう。



「ガザへの集団犯罪 私たちはいかにジェノサイドに加担
しているか (地平社ブックレット4) (著: フランチェスカ・
アルバネーゼ/地平社、2026年) のなかの、もくじI「正
義よ、私たちの嵐となれ——ヨハネスブルグ、第23回
ネルソン・マンデラ財団年次講演」より

パレスチナ・ガザで起きていることについて、「パ
レスチナ・ガザからの報告は、今までもいくつかあり
ますが、その現場は『死者、行方不明者、瓦礫の下に埋
まったままの遺体、避難のさなかのパニック、子ども
を抱き寄せながら恐怖に震える本能的なおののき、1
度、2度、10度の避難を強いられること、苦悩と喪失
と恐怖』である時、その報告は『軟弱者』には、読み始
めるとすぐ、読むことも、開くことも、見ることも尻込
みしてしまわざるを得なくなります」としても、なん
とか読むことになった、「ガザある戦争の物語」及び「歴
史学者、ガザに潜入する」をもとに、書きました。

それから3カ月余り、「ガザ ある戦争の物語」の出
版社、地平社の発行している「ガザ・ジェノサイド報告
書」(国連人権理事会)、「ガザへの集団犯罪/私たちは
いかにジェノサイドに加担しているか」(フランチェス

カ・アルバネーゼ) が、示唆していることを、自らに少
なからず、かつ少なからず共有して欲しい願いで、つた
ないながら紹介をすることにしました。

「国連人権理事会 ガザ・ジェノサイド報告書 (地平社
ブックレット5) (国際独立調査委員会/地平社、2026年)
は、起こっている、「まさしくジェノサイド」について
の、「事実」にもとづく報告書です。

「ガザへの集団犯罪/私たちはいかにジェノサイド
に加担しているか」は、「それへの加担」は、「私たち自
身」のことであり、その事実の容赦ない指摘と、それが
いかにして起こっているのか、いいえ「起こしている事
実」を、いかに変えて行くのかを、今、現実を起こって
いるガザ・パレスチナのジェノサイドの事実に戻り
立ち、かつ戻りながら、その「犯罪」を追求します。

「世界が眠っているあいだに」は、ガザ・パレスチナ
のジェノサイドの、過去から現在までを、それに直接・
間接に関わりを持つ人たちとの出会い、時にはその場
所に立った経験を元に、それが「ジェノサイド」である
ことを、幅広く冷静に分析し、「世界」に向って語りか
けるように「告発」します。

「ガザへの集団犯罪/私たちはいかにジェノサイド
に加担しているか」は、「占領経済からジェノサイド移
行へ」は、「1967以降のパレスチナ被占領地の人権状況
に関する特別報告者報告」(2025年6月30日、フラン
チェスカ・アルバネーゼ) 及び「ガザにおけるジェノサ
イド/集団犯罪」は、「1967年以降のパレスチナ被占領
地の人権状況に関する特別報告者報告書」(2025年10
月20日、フランチェスカ・アルバネーゼ) で構成され
ています。

(次週につづく)